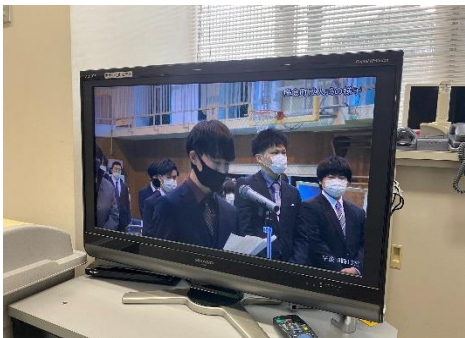


令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書

事業No. 事業の名称	No.66 ケーブルテレビ行政放送パワーアップ事業	担当課	みらい安心課
事業の概要	コロナ禍で、学校行事やイベント等の在り方が大きく見直される中、行政としても情報発信の質的向上を図るため、ケーブルテレビのハイビジョン（HD）化整備を進め、視聴する市民の利便性を向上させる。併せて、撮影用カメラを購入し、動画放送を段階的に増やすことで、チャンネルの魅力を高め、より多くの住民が視聴することを目指す。 【事業費内訳】 ハイビジョン化整備 3,536,500円 撮影用カメラ購入 117,370円 <u>+ 動画放送(22,000円×4回) 88,000円</u> 3,741,870円 } 小学校文化祭 中学校文化祭 成人式 地域包括ケア啓発公演会		
緊急経済対策との関係	I-6 情報発信の充実	事業の始期 事業の終期	令和2年10月 令和3年2月
総事業費	3,741,870円	事例集番号	—
交付対象経費	3,741,000円	補助・単独	単独
事業の効果	ケーブルテレビのハイビジョン（HD）化整備により、テレビ放送時の画質が格段に向上し、動画放送および文字放送の魅力増加に寄与したといえる。動画放送では、コロナ対策により保護者の参観が中止となった学校行事の様子や、同様に参加に制限を設けた成人式の模様などを放映。視聴者のニーズに沿った放送内容を提供することにより、コロナ禍での密を防ぐとともに、情報発信の強化および視聴者の関心度の向上につながった。 撮影用カメラは、動画放送のための撮影だけではなく、町が企画する各種啓発動画やPR動画の撮影に活用したり、空き家の案内動画を撮影することで県外の見学希望者に対応するなど、「新しい生活様式」に則った情報発信が可能となった。		
事業の様子 (写真等)	 		
備考欄			